

うつし

ひと

熊本、この地で、

秘められた恋が胸にせまる。

行定勲 監督作品

橋本 愛 姜尚中 / 高良健吾 石田えり

米村亮太郎 高崎恵理 宮崎 京 黒木ましろ 中川ひとみ 伊藤匠 油木田一清 島ゆいか 小原汰武 花童 くまモン

監督・脚本/行定勲 脚本/堀泉杏 プロデューサー/倉田泰輔、古部 裕、古賀俊輔 撮影/福本 淳 照明/市川徳充
録音/伊藤裕規 美術/相馬直樹 音楽/めいな Co. 編集/今井 剛 スタylist/馬場圭介 ヘアメイク/倉田明美、松本美奈 助監督/工藤将亮 題字/松永社
主題歌/「うつしひと」忘れら心ねとI 制作プロダクション/ユーツー 特別協力/熊本県、熊本朝日放送 製作/くまもと映画製作実行委員会

熊本出身の映画監督と俳優による

熊本への愛に溢れた珠玉の短編映画、ここに完成

ラジオ『月刊 行定勲』（FM熊本）や、ここ最近では菊池映画祭のディレクターも務め故郷、熊本に関わって来た映画監督・行定勲がついに熊本県と共に映画を企画した。

「熊本に生きる人々の日常を背景にしたささやかなストーリーに仕上げることでロケーションの素晴らしさを際立たせ、熊本を日本だけでなく世界にアピールしたい」という想いから行定は、熊本市内、熊本城、菊池渓谷、阿蘇草千里でオールロケーションを敢行。そして監督として最もこだわったのは出演者がオール熊本出身であること。その想いに応えた素晴らしい俳優たちが集結した。

主演の透子役には、テレビドラマ『あまちゃん』や大ヒット映画『寄生獣』などで繊細で神秘的な演技で魅了してきた映画界期待の若手実力派・橋本愛。透子に協力する探偵、玉屋末吉役に映画『横道世之介』や『きみはい子』などの作品で日本映画界を牽引する俳優・高良健吾。透子の母親であり、この物語の鍵となる鈴子役には、映画・舞台と広く活躍している日本を代表する女優・石田えり。透子の友人・田上に人気劇団ポツドールなどで活躍する演劇界の異端児・米村亮太郎。そして、謎の男の役に政治学者の姜尚中が演技に初挑戦しているも見どころである。



①草千里
直径約1km、円形の草原が広がる阿蘇の観光地。



②早川倉庫
建造は明治初期、イベントなどで活用される貸し倉庫。

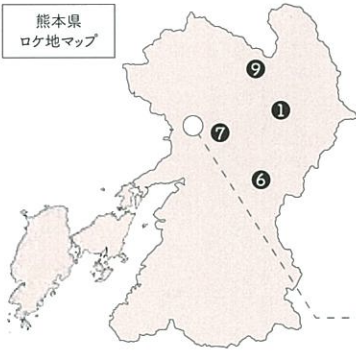


③orange 橙書店
オーナーが選ぶこだわりの本がある書店とカフェ。



④夏目漱石記念館
新婚生活、長女の誕生など漱石が暮らした旧住居。

高校生の頃、母に贈った『櫛』の話が母から聞くことに。部屋には父が作った未完の8ミリ映画が流れている。そのフィルムの中には高校時代の母と父、そしてもう一人、少年が映っていた。翌日、透子は探偵の玉屋と母を護衛するため見張りをして、「お母さんはつけてた男が目の前におっすたい！」と田上から情報が入る。透子と玉屋は急いで現場に向かうのだが……。



透子が友人の田上の元へ戻ると、透子の母をつける怪しい男がいると知らされる。心配になった透子は帰りに母・鈴子の仕事場へ立ち寄るも、外にいる怪しげな中年の男に気づいてしまう。その夜、亡くなった父

くまもと映画プロジェクト

美しき熊本の城下町。ある日、玉屋末吉探偵事務所の探偵・玉屋末吉のもとへ二人の依頼人がやってくる。それは謎の美女と小柄な男で、耳打ちされたのは県をも揺るがす極秘事件だった。一方、繁華街の片隅にある小さな本屋でアルバイトをする大学生の透子の元には、友人の田上がきていた。しかし、同時に本屋へ入ってきた謎の黒いコートを纏う中年の紳士に話しかけられてしまう。彼は独特の雰囲気を持ち、最後に「若い女は美しい。でも、老いた女はもっと美しい」とホイットマンの詩を残していく。



⑤西村邸
市指定景観重要建造物で、器季家カフェとして営業中。



⑥造河橋
国の重要文化財、石造りのアーチ水路橋は日本最大級。



⑦江津湖
「日本一の地下水都市・熊本」を代表する湖。



⑧熊本城
加藤清正が建てた城で熊本を代表する観光地。



⑨菊池渓谷
阿蘇の水が湧き出る自然豊かな渓谷。

2016年10月10日(月祝) ①10:30 ②14:00 ③16:00 ④19:00 (各回30分前開場) 上映時間:39分

茨木クリエイトセンター・センターホール 茨木市駅前四丁目6番16号 ☎072-624-1726

【全席自由・時刻指定】500円 *就学前のお子様はご遠慮ください

■予約開始日:9月1日(木)9:00 *財団の初日はインターネット、電話予約のみ。残席がある場合は翌日から窓口販売開始。

■お申込み・お問合せ:茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055 (9:00~17:00)

インターネット予約 www.ibabun.jp *ネット予約の場合コンビニ(セブンイレブン、サークルK、サンクス)で精算・受取ができます。(手数料108円)

*予約チケットは、9月2日(金)から下記のチケットカウンターでお引き取りいただけます。

◎クリエイトセンター1階チケットカウンター(9:00~17:00) ◎福祉文化会館3階チケットカウンター(9:00~17:00)

*当日のご精算もお受けします。当日は、上映開始時刻までにセンターホール前受付でお引き取りください。

■その他販売所:ローソンチケット 0570-000-777(オペレーター対応) Lコード予約 0570-084-005(Lコード 52845) <http://l-tike.com>

★入場料収入は、上映会当日の募金と併せ全額義援金として「くまもと映画製作実行委員会」へお送りします。

